

**京都大学教育研究振興財団助成事業
成 果 報 告 書**

平成21年11月4日

財団法人京都大学教育研究振興財団
会 長 辻 井 昭 雄 様

所属部局 情報学研究科

職 名 教授

氏 名 松 山 隆 司

事業区分	平成21年度・シンポジウム等開催助成			
事業内容	第12回コンピュータビジョン国際会議の開催			
開催期間	平成21年9月27日 ~ 平成21年10月4日			
開催場所	ワークショップ・チュートリアル(9月27、28日、10月3、4日) 京都大学百周年時計台記念館、工学部3号館 本会議(9月29日~10月2日) 国立京都国際会館			
成果の概要	タイトルは「成果の概要/報告者名」として、A4版2000字程度・和文で作成し、添付して下さい。「成果の概要」以外に添付する資料 無 有(DVD論文集、論文アブストラクト集、ポケットガイド、写真集)			
会計報告	事業に要した経費総額	(飲食・宴会経費を除いた額)	77,502,775円	
	うち当財団からの助成額		1,500,000 円	
	その他の資金の出所	(機関や資金の名称) 中山隼雄科学技術文化財団(100万円)、 (財)テレコム先端技術研究支援センター(50万円)、(財)情報科学国際交流財団(50万円)		
	経費の内訳と助成金の使途について			
	費 目	金 額 (円)	財団助成充当額 (円)	
	会場費(国際会館、京都大学)	13,086,329		
	機材費・設営費(国際会館・京都大学)	6,869,262		
	旅費・交通費	4,207,026		
	印刷費(DVD,冊子)	5,407,365	265,000	
	ホームページ制作費	939,750	525,000	
	事務局経費(参加者管理、受付)	11,480,794		
人件費(アルバイト謝金)	5,585,596	710,000		
推進委員会経費(論文賞等賞金含む)	6,705,617			
IEEE主催者経費	23,221,036			
合 計	77,502,775	1,500,000		

第12回コンピュータビジョン国際会議 成果の概要

報告者：松山隆司

【国際会議名】第12回コンピュータビジョン国際会議

【開催期間】平成21年9月27日～平成21年10月4日

【開催場所】

ワークショップ・チュートリアル(9月27, 28日、10月3, 4日)

京都大学百周年時計台記念館、工学部3号館

本会議(9月29日～10月2日)国立京都国際会館

1. 目的

コンピュータビジョンは、画像処理・認識、3次元形状・運動計測、人間の顔・動作認識、3次元映像生成など、視覚情報処理全般を扱う研究分野である。本国際会議は、コンピュータビジョン分野における世界トップの会議で、Nature や Science と同様、論文審査は非常に厳しく、発表や議論の質は高く、論文が採択されることが学位論文審査や研究者の昇任・昇格に大きな影響を与えるほどである。こうした国際会議を開催することは、わが国の研究レベルの向上、特に若手研究者、大学院学生の向学心を高める絶好の機会であるとともに、京都大学の国際的認知を高め、今後の国際交流促進にも大いに寄与するものと言える。

2. 論文投稿、採択審査、受賞者

論文投稿は、平成21年3月10日に締め切られ、投稿総数は過去最高の1,327件となり、4人のProgram Chairsに加え、世界各国から41名のArea Chairsが、723名の査読委員から得られた評価を基に、平成21年6月6, 7日に奈良先端科学技術大学院大学にて採択審査を行った。その結果、口頭発表論文48件(採択率3.6%)、ポスター論文260件(採択率19.6%)が選ばれた。こうした厳しい審査に合格した論文は、いずれも最先端、最高レベルのものであると言える。

特に、本国際会議では、口頭発表はsingle sessionで行われることが伝統となっており、最優秀論文には、The Marr Prizeが与えられ、受賞者は一流の研究者として広く認知される。今回は、米国カリフォルニア大学Irvine校の

C. Desai, D. Ramanan, and C. Fowlkes: Discriminative Models for Multi-class Object Layout

が受賞し、バンケットにおいて表彰式が行われた。

3 . 参加者

2008年9月のリーマンショックに端を発した急激な世界的不景気に加え、2009年春からの新型インフルエンザの流行という2つの大きな障害にも関わらず、京都で開催されるコンピュータビジョン国際会議という2重の国際的ブランドの効果によって、参加者総数は過去最高の1,402名に上り、京都国際会館本会議場(1,840名収容)は人で埋め尽くされた。また、ポスター発表、デモ・企業展示会場としては、同会館内のイベントホール(3,000平米)を用意したため、こうした大勢の参加者がゆっくりとコーヒーなどを飲みながら議論ができ、大変好評であった。

参加者の内訳は、国外982名、国内420名、参加国・地域数42と圧倒的に海外からの参加者が多数を占め、また学生参加者496名のほか大多数が若手研究者となり、国際色豊かで非常に活気あふれる会議となった。

また、バンケットでは、別売り(配偶者用)チケットが161名分も販売され、雅楽と舞妓による日本舞踊という我が国の伝統的無形文化に多くの人々が惹きつけられ、国際交流面においても大きな成果を挙げる事ができた。

4 . ワークショップ、チュートリアル

本会議の前後2日ずつ、合計4日間には、京都大学元総長の長尾真先生をはじめ世界有数の研究者8名による特別セッション、20件のワークショップ、14件のチュートリアルが京都大学百周年時計台記念館および工学部3号館にて催され、吉田キャンパスが本会議とほぼ同数の参加者で賑わった。

日程を夏季休暇中および土日に設定したため、1,000名を超える参加者が構内をスムーズに移動できただけでなく、時計台前の楠の下や各所のベンチなどで食事や議論をゆったりと行う事ができた。また、多数の外国人研究者がキャンパスで4日間もの間、研究発表、議論を行ったことで、京都大学の国際的認知の向上に大きく寄与し、今後の国際交流の展開にも役立ったと言える。

5 . インフルエンザ対策、運営体制

事前の厚生労働省などの予測では、会議期間中に新型インフルエンザ蔓延のピークが来るとされていたため、全ての参加者にマスクとうがい薬を配布するとともに、会場各所に手の消毒薬を配備し、更には非接触で数秒で体温が測定できる器具も準備し、体調不良者の早期発見に努めた。また、万一患者が発生した場合の医療機関、調剤薬局も手配し万全を期した。会議期間中に3名の参加者が新型インフルエンザと診断され治療を受けたが、幸い集団発生には至らなかった。

一方、1,402名もの参加者の受付、発表者支援、会場案内・誘導、昼食・喫茶の手配など

を円滑に行うため、コンベンション会社からの人材派遣に加え、京都大学、大阪大学、奈良先端科学技術大学院大学から 60 名を超える学生を動員し、会場運営に当たった。これらの人達には、一目で支援者であることが分かるように、会議のロゴを染めた真っ赤な法被を着てもらったが、その姿や支援の様子に対して多くの参加者から称賛の声を頂き、日本のおもてなしの心がうまく伝わったと言える。

6 . 総括

世界的な経済不況、社会的不安の中で、記録的な論文投稿、会議参加者が得られ、第 12 回コンピュータビジョン国際会議は大成功であったと言える。このことは、会議中、会議終了後に多くの参加者、特に国外からの参加者からお礼と称賛の声を頂いたことから明らかである。たとえば、コンピュータビジョン分野の創始者とも言える米国の著名な研究者からは、

This is a note to thank you for your efforts as general chair for ICCV 2009 and for your gracious handling of the awards ceremony in particular. I especially liked your calm and dignified approach and the injection of local culture and ceremony into the proceedings. というメールを頂き、我々が目指した科学技術における研究推進とともに、日本、日本人の持つ文化に関する理解を深めてもらうという意図がうまく伝えられたと思われ、主催者としても非常に満足の行く国際会議であった。

最後に、膨大な準備作業、会場での運営支援に積極的に当って頂いた多くの若手研究者、学生の皆さんに心から感謝の意を表すとともに、不況の中企業広告・展示をして頂いた多くの企業、財政支援を頂いた助成団体の皆様にお礼を申し上げさせて頂きたい。

参加者統計

1. 参加者数(不出席者 28 名を含む)

学生以外	906
学生	496
合計	1402

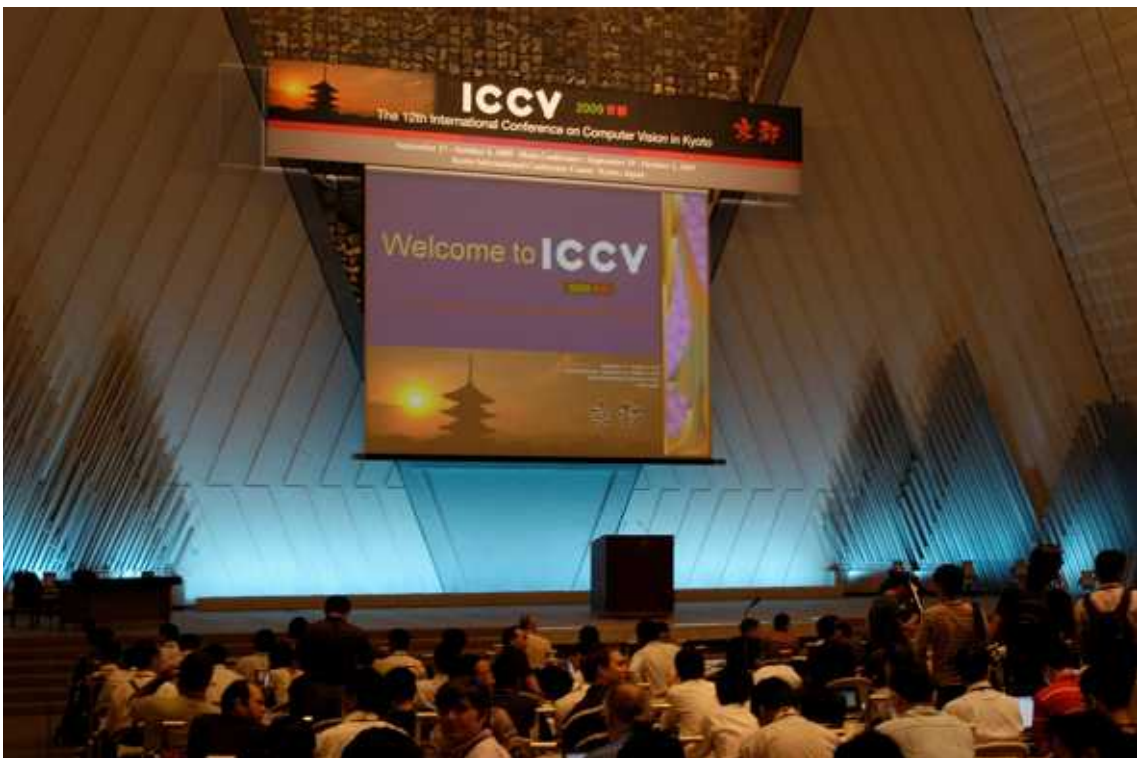
2. 国別参加者数(不出席者 28 名を含む)

Argentina	2	Malaysia	1
Australia	18	Mexico	1
Austria	18	Netherlands	11
Belgium	6	Nigeria	1
Brazil	1	Norway	2
Canada	32	Pakistan	2
Chile	3	Portugal	4
China	67	Saudi Arabia	1
Czech	6	Sierra Leone	1
Denmark	4	Singapore	25
Finland	8	Slovakia	2
France	62	Slovenia	3
Germany	70	South Africa	1
Greece	3	Spain	24
Hungary	2	Sweden	18
India	5	Switzerland	31
Indonesia	1	Taiwan	28
Ireland	2	Turkey	6
Israel	33	United Kingdom	73
Italy	18	United States	293
Japan	420		1402
Korea	93		

第 12 回コンピュータビジョン国際会議
(2009.9.27 ~ 2009.10.4)

写真集

【本会議】 2009.09.29-10.02 国立京都国際会館



【オープニング】





【ポスター・デモ・企業展示】





【レセプション】 2009.9.29 グランドプリンスホテル京都



【バンケット】2009.10.1 グランドプリンスホテル京都





【クロージング】2009.10.2 国立京都国際会館





【ワークショップ、チュートリアル】 2009.09.27-28,10.3-4 京都大学







